

社会資本総合整備計画 中間評価書

岸和田市丘陵地区における周辺環境を活かした新たな地域拠点の形成

平成28年4月1日

大阪府岸和田市

社会資本総合整備計画

中間評価書

平成28年4月1日

計画の名称	1 岸和田市丘陵地区における周辺環境を活かした新たな地域拠点の形成										重点計画の該当					
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)					交付対象		大阪府、岸和田市								
計画の目標																
岸和田市丘陵地区において土地区画整理事業を行うことで、地域資源を活かした産業の創出やゆとりある住宅地の形成など、周辺環境と連携した新たな地域拠点の整備を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）																
・土地区画整理事業により整備した業務系用地を活用した新たな産業団地の形成を目指す。 ・良好な周辺環境と調和した住宅地整備による人口定着を図る。 ・市中央部の地域拠点として整備を図り、当該地区だけでなく周辺地域のアメニティ向上も図り、新しい都市生活を創造する。 ・地域住民が積極的に地域資源を活用し、自主的にまちを育ていけるまちづくりを目指す。																
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考			
										当初現況値 (H25末)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)				
①業務地整備に伴う進出企業数 新たに丘陵地区に進出してきた企業数					0社					5社		10社				
②居住人口 住宅地整備に伴う丘陵地区内の居住人口					0人					0人		200人				
③まちの過ごしやすさ 既存権利者及び進出企業、新たな住民へのアンケート調査による					0%					0%		50%				
④まち育て団体の活動回数 既存のまちづくり組織を発展させる予定の（仮称）まち育て協議会の年間活動回数					0回/年					2回/年		4回/年				
全体事業費		合計 (A+B+C+D)	3,473百万円	A	3,473百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)		0%		
中 間 評 価																
○中間評価の実施体制、実施時期																
中間評価の実施体制										中間評価の実施時期						
岸和田市まちづくり推進部丘陵地区整備課												平成28年度				
										公表の方法						
										岸和田市ホームページにて公表						
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
1-A1-1	都市再生	一般	岸和田市	直接	岸和田市	岸和田丘陵周辺地区都市再生整備計画事業	区域面積 A=329.6ha	岸和田市							2,860	
1-A1-2	街路	一般	大阪府	間接	岸和田市丘陵土地区画整理組合	岸和田市丘陵土地区画整理事業	区画整理 44.0ha	岸和田市							613	
合計													3,473			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
合計													0			
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
															0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						・道路整備、上下水道整備、造成工事 等の進捗により、一定の企業誘致に繋げることができた。 ・工事や企業誘致が進み、まちの将来像を見据える時期となったことで、まちづくり協議会の審議内容は、まち育てへと徐々に変化を遂げている。										
II 定量的指標の達成状況	指標① 業務地整備に伴う進出企業数 (新たに丘陵地区に進出してきた企業数)	中間目標値	5社	目標値と実績値に 差が出た要因	・良好な自然周辺環境や交通アクセス 等が評価され、目標値以上の進出企業数を確保することができた（※進出企業数＝契約企業数）。											
		中間実績値	8社													
	指標② 移住人口 (住宅地整備に伴う丘陵地区内の居住人口)	中間目標値	0人	目標値と実績値に 差が出た要因	・計画どおり。											
		中間実績値	0人													
	指標③ まちの過ごしやすさ (既存権利者及び進出企業、 新たな住民へのアンケート調査による)	中間目標値	0%	目標値と実績値に 差が出た要因	・計画どおり。											
		中間実績値	0%													
	指標④ まち育て団体の活動回数 (既存のまちづくり組織を発展させる予定の (仮称)まち育て協議会の年間活動回数)	中間目標値	2回/年	目標値と実績値に 差が出た要因	・好調な企業誘致状況が背景にあることも相まって、まち育て内容の協議会へと進化し、回数増の結果となっている。											
		中間実績値	6回/年													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																
3. 特記事項																
・引き続き、早期の業務地整備を実施し円滑な企業誘致を実施するとともに、自主的なまち育て環境を創生することを目指す。																

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	岸和田市丘陵地区における周辺環境を活かした新たな地域拠点の形成		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	大阪府、岸和田市

